

	開催時期	各回テーマ
第1回	7/25（月）	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 検討会の検討事項（都市計画情報のデジタル化・オープン化の実態と課題）に関する意見交換 ➢ ガイダンスおよび製品仕様書の骨子、基礎調査実施要領改訂の方向性に関する意見交換 ➢ 関連話題提供・取組紹介（自治体委員：横浜市・秩父市、民間オブ：ESRI）
第2回	9/21（水）	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ガイダンス概要版（素案）の提示・意見交換 ➢ 製品仕様書(案)の提示・意見交換 ➢ 基礎調査実施要領(案)の提示・意見交換 ➢ 関連話題提供（都市計画基礎調査のあり方（真鍋委員）、関連取組紹介（民間オブ：ESRI）、都市計画決定情報簡易ビューアー（佐々木委員））
<p>～ ガイダンス(概要版等：素案)および標準製品仕様書(案)、基礎調査実施要領(案)に関する自治体・業界団体への意見照会 ～</p> <p style="text-align: right;">自治体説明会 10/20</p> <p style="text-align: center;">※照会期間：10/21（金）～11/18（金）</p>		
第3回	11/30（水）	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自治体・業界団体への意見照会結果 （ガイダンス概要版(素案)および標準製品仕様書(案)、基礎調査実施要領(案)に関する意見照会結果） ➢ 都市計画情報のデジタル化推進に向けた方針（案）、都市計画情報の高度化に向けた技術検討方針（案） ➢ 関連話題提供（政府・自治体のDXとデータ活用の動向（武蔵大学・庄司先生）、不動産ID活用（国交省不動産・建設経済局）、地理空間データ基盤構築のロードマップ（高松市）） <p style="text-align: right;">2D関連の話題提供</p>
<p>～ 標準製品仕様書、基礎調査実施要領〔第5.0版〕に関する参考資料配布 ～ ※年内目途に意見照会結果反映版</p>		
第4回	1/24（火）	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ガイダンス(案)、標準製品仕様書(案)、基礎調査実施要領(案)の提示・意見交換 ➢ 都市計画情報の技術検討（ケーススタディ）・技術実証の進捗報告 ➢ 関連話題提供（個人情報保護関連の動向、14条地図オープンデータ化（法務省）、3D都市モデルとの連携（岡谷市）） <p style="text-align: right;">2D・3D連携の話題提供</p>
第5回	3/10（金）	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 今年度成果と今後の課題とりまとめ ➢ 改訂3文書の提示・意見交換 ➢ 関連話題提供（R5 ProjectPLATEAU取組予定 等）
<p>～ 改訂ガイダンス、改訂標準製品仕様書、基礎調査実施要領〔第5.0版〕の発出（都市計画課長通知）～</p>		

改訂3文書の年度末発出について（標準製品仕様書および基礎調査実施要領の発出時期の変更）

①都市計画データ標準製品仕様書

- 12月の都市計画データ標準製品仕様書（案）の配布（参考資料としての位置付け）
⇒ 来年度調査の参考として、都市計画基本図及び都市計画基礎調査の各項目を追加
- 3月の3D都市モデル標準製品仕様書の改訂に合わせて本仕様書も改訂・発出
⇒ 3D都市モデルに追加が必要な項目（主に属性）を追加（参照するi-URの版の更新）

・ i-URとは

- 内閣府地方創生推進事務局が作成する「i-UR」（i-都市再生技術仕様案）は、CityGMLに定義されていない地物や属性を追加する、拡張モジュールである。
 - 都市計画基礎調査の項目をBuildingの属性として追加したり、都市計画区域等の都市計画決定情報を地物として追加したりしている。
- i-URは、3D都市モデル標準製品仕様書及び都市計画データ標準製品仕様書において、データの構造とそのフォーマットに該当する。
 - UMLクラス図とGMLSchemaがそれらに該当する。
 - 各製品仕様書には、出典と使用範囲を明示するためUMLクラス図を記載しているが、GMLSchemaはi-URを参照という記載方法になっている。
- R2年度より、都市局での検討を通じて、追加が必要となった地物・属性をi-URに反映する、というサイクルになっている。

②都市計画基礎調査実施要領

- 12月までに自治体意見照会結果を反映した都市計画基礎調査実施要領（案）の配布（参考資料としての位置付け）
⇒ 来年度調査の参考として、都市計画基礎調査の各項目の帳票を整理（記載内容のゆらぎ等を見直し）
- 3月に描画仕様やまえがきの内容も更新した実施要領を改訂・発出
⇒ 都市計画情報の全国均質的な整備や可視化（描画等）に向けて、都市計画基礎調査項目の凡例・描画に係る標準様式を検討

◆凡例・描画イメージ

9. 図面凡例

表示内容	色影（色番号）	表示方法
非居住地	15-1 土地利用別（土地利用別「雑種」の土地利用種別図面凡例のとおり）	塗りつぶし
工業専用地域	あお(23)	斜めハッチ
生産緑地	あか(15)	塗りつぶし
住区界	みどり(6)	線取り
既成市街化区域	だいだいいろ(4)	線取り
都市計画道路	あか(15)	二重線
都市計画区域	くら(24)	一点線
市街化区域	ちやいろ(21)	実線

〈作業図のイメージ〉

